



小田原城北 ロータリークラブ

例会場及事務所

毎週 火曜 12時30分
〒250-0211
小田原市鬼柳172-9
小田原卸センター内会議室
TEL 0465-37-1222
FAX 0465-37-7377
http://www.odawarajrc.jp
E-MAIL :info@odawarajrc.jp



会 長 中村 維孝 幹 事 竹村堅一郎
副 会 長 露木 清勝 副 幹 事 金山 慶昭
クラブ会報委員会 石内 正彦委員

DISTRICT No.2780 KANAGAWA JAPAN

BUILDING COMMUNITIES BRIDGING CONTINENTS 地域を育み、大陸をつなぐ

第1698回

点 鐘 中村 維孝会長
司 会 金山 慶昭副幹事
斉 唱 「君が代」「奉仕の理想」「四つのテスト」

出席報告	会員数	出席	M.U	出席率
4月5日	52(48)	40	0	83.33%
3月29日	52(48)	43	1	91.67%
3月22日	52(48)	37	1	83.33%

【出席報告】内山 修一委員

【欠席者】 8名

須藤 公司・杉崎 勝成・佐須 智明・木村 頼弘
田代 博信・太田 忠・渡部 重海・所 真人

《慶事祝福》

【結婚記念日】

中野 明(4月5日)・須賀 俊和(4月8日)
渡部 重海(4月8日)

会長挨拶

中村 維孝会長

東北の地震や津波による被害状況がますます明らかになって参りました。

今、原発の問題が緊迫した状況になっておりますが、早く収束してもっと晴れ晴れとした生活を送れるようになりたいものだと思っております。

先週の例会のあと仕事の関係で中国のタントンという町に行き参りました。北朝鮮との国境近くにあるその町は、夜はラスベガスのように光り輝いていました。物資が中国から北朝鮮に送られる唯一の経路ということで、賑やかで経済的にも豊かに思われました。日本はこのような状況ですが、中国ではこんな田舎の町でも景気がいいのだと実感しました。

35周年記念式典の中止に伴い、6月14日(火)の夜間例会に報告会を行うことを理事会で決定しました。報徳会館にて報告会と食事会を行います。

5月31日(火)の職業奉仕委員会による優良企業訪問は、計画通り行うことが決まりました。但し、このような状況なので、

2011年4月5日(晴)第1542号

変更がありましたら報告いたします。

米山奨学生を4月から受け入れることになりました。中国のテイ・サイカさん(女性28才 文教大学情報学部広報学科)を1年間(4月1日から来年3月19日まで)ケアします。カウンセラーは中野さんをお願いいたしました。

先日、皆様に会館の入口のところで、月桂樹の記念植樹をしていただきましたが、その時の取材記事が3月31日の神静民報に載っております。

幹事報告

竹村 堅一郎幹事

- 地区より米山奨学生受け入れのお願いがありました。
- 北RC承認後になりますが、事務局にリースにてカラーコピーをいれます。
- 各事業所にお願ひした義援金は3月29日101,716円となりました。4・5・6月と延長し、毎月末締めてご報告いたします。お礼状の必要な方へは送らせていただきますのでお知らせください。

委員会報告

雑誌広報渉外委員長 大川 久弥委員長

今月は雑誌月間です。ロータリーの友の会誌を活用して下さい。投稿も受付けておりますので、載せたい記事がありましたら、私まで連絡下さい。

アラリアプロジェクト

菊地 義雄委員

☆スリランカのプリヤンカさんが義援金10万円(スリランカのお金にすると1,000万円くらいです)を月曜日に送ったそうです。

復興の願いを込めてお寺でのお祈りを予定しているそうです。

☆ロカ君の送別会の時の最後のメッセージがとても良かったので、会報に掲載しますので是非読ん頂きたいと思ひます。



卒業を祝う会でのスピーチ

ガンゾリグ・ロブサンジャムツ(ロカ)

私は日本に留学し、小田原城北RCと出会えたことを誇りに思います。先日は東北大震災があり、日本は大変な状況に陥りました。だが、現地の人々はお互いに協力しあい、一生懸命に復興事業に参加しています。支援物資が届くところあるものを皆で分け合い、等分している光景が素晴らしいと思いました。また他の地域の人々も一致団結し、がんばっています。しかし、CNNの日本専門の記者は「予想を遥かに超えた震災だったため、市民は混乱することすらできない状況だ」と語っています。これは大間違いであると私は自信を持って言えます。日本に来て7年経ちます。この間に色々な人に出会い、様々な場所で生活してきました。その全てが善良だったとは言えませんが、日本人という人種は世界で一番礼儀正しい人種だと心の底から思いました。協力の精神、忍耐強さ、思いやりの心、勤勉な働き、団結力などモンゴルに取り入れたい要素がたくさんあります。経済的には世界の大国だが、社会性や市民性に関しては世界一だと私は思います。だから私は日本が大好きだ。

もうすぐ帰国しますが、その目的は祖国についてより多くのことを勉強し、人脉作りに励むことです。中学を卒業して来日したため、正直にいうとモンゴルについては浅はかな知識しかありません。将来はモンゴルを背負う覚悟を持っているので、この弱点はどうしても克服したく思っています。1年か2年でまた来日し、横浜国立大学の大学院に進もうと思っています。

もう一つ、私に大きな目標があります。アジアの国々はこれから急成長します。その頂点にいるのが日本です。日本の政府や民間団体などの奨学金を得て、学業に専念できた留学生はたくさんいます。この皆が団結すれば、将来のアジアは著しく発展すると思っています。米山奨学金を受給している間に出会った友達とは一生連絡しあい、ロータリーの会員の皆様の意思を継いで、アジアの地域だけではなく世界を範囲に入れた社会貢献に取り組みたく思っています。このことを小田原城北RCの皆様に公言し、一生懸命がんばることを誓います。

ニコニコ箱

釘持 悟委員長

鈴木 友徳さん 結婚祝い、ありがとうございます。49回目になります。先週欠席してすみませんでした。

勝亦 常隆さん 結婚記念日、お祝い誠にありがとうございます。47回目かな?3月29日です。

中野 明さん 結婚祝いをいただきましてありがとうございます。今日で33周年です。城北ロータリーを2年遅れで追いつけます。

須賀 俊和さん 結婚記念日のお祝い誠にありがとうございます。いつまでも仲良くお願いしたいものです。

井上 寛さん 本日、急きょボランティアで南三陸町に行ってきた諏訪間さんに現地の話をしていただくことになりました。関係委員会にはご迷惑をおかけしました。

釘持 悟さん 今、計画停電を行っていて、供給電力何Wとかマスコミで発表されていますね。これを金に換算したらどうなるでしょう。日本経済(円)のキャパを考える際にわかりやすい指標になるように思われます。今、我々の身近な箱根・湯河原の温泉郷が大きな打撃を受けているといわれております。先週も述べさせていただきましたが、あまりに今、経済規模がちごまっているように思われます。

卓話

被災地支援活動について

諏訪間 陽子

こんにちは。お久しぶりです。小田原城北ロータリークラブのご支援のもと、2007年~2008年に青少年交換生としてフランスに派遣させていただいていました、諏訪間です。いつもお世話になっております。現在は、秋田の国際教養大学の3年生です。

このたび、3月30日から四日間、4月2日まで、AMDAのボランティアとして東北関東大震災の被災地、宮城県の南三陸町に行き参りました。南三陸は、約7割が壊滅状態で今もなお、電気、ガス、水道のライフライン復旧めどない地域です。そちらで、アムダ緊急医療



支援のお手伝いをして参りました。アムダとは特定非営利活動法人だそうで、The Association of Medical Doctors of Asiaの略語です。ご存知かと思われませんが、アムダの活動について、ホームページから抜粋するとこのように書かれています。

AMDAの緊急救援活動は、災害等の発生後あるいは紛争による難民発生後、いち早く現地に駆けつけ、医療支援の届きにくい地域や難民キャンプにおいて、被災者や難民を対象に保健医療活動を行います。特に現地の状況、被災者のニーズを把握するために、被災地に近いAMDA海外支部(30ヵ国)と連絡を取り合い、その支部等の医療チームと日本からの医療チームで多国籍医師団を編成し活動にあたっています。被災者の言葉、生活習慣、文化、宗教等を共有することのできる医療スタッフは、AMDAの緊急救援においては不可欠だからです。そして、現地の医療システムが再開し始める頃を見計らい、